人にやさしい街づくりをめざし、宇都宮さんを応援する会

（略称・ひとまち勝手連）よびかけ

私達は、「誰もが人らしく生きられるまち、東京」の実現をめざす宇都宮けんじ氏を支持する。宇都宮氏は、「大規模再開発などの支出を見直し、福祉・医療を充実できる財政を確立します」と述べている。これは、私達が以前から求めてきた内容である。

大手開発業者やゼネコンばかりが潤い住民が追い出される再開発や道路建設を続けるか、老若男女が住み続けられる街をめざすか。これは「人にやさしい都政」への大きな分岐点である。

私達は大規模再開発で苦しめられてきた市民である。それぞれの地域でマンション建設反対運動や再開発反対運動、道路建設反対運動などに取り組んできた。私達の問題は東京都政の問題である。

都市再生、規制緩和、国際競争力の強化、オリンピック誘致などの名目で高層ビル建設や再開発事業、道路建設が推進され、私達の莫大な税金が投入されてきた。再開発地域や道路建設予定地の住民は長年居住していた住まいを追い出され、小規模事業者は生業も失った。

開発地の周辺住民は日照阻害や景観破壊、ビル風、自動車交通の増大による通行の危険や大気汚染などの住環境破壊に苦しめられている。街はどこにでもあるような高層ビルとチェーン店ばかりになり、街の個性も人のつながりも喪失した。高齢者が買い物できる馴染みの店がなくなり、買い物難民も生まれている。

このような街づくりを強力に進めてきたのが石原東京都政であった。築地市場の豊洲移転や外郭環状道路、八ッ場ダム、スーパー堤防など、石原慎太郎氏が推進し、無責任に放り投げた問題への対応は、人にやさしい都政への転換の中心となる課題である。人口減少社会の日本に不要不急の大規模再開発はいらない。それは、今暮らしている都民だけでなく次の世代にも負担を強いるものである。

**私達は、新しい都知事の下で大型開発優先から人にやさしいまちづくりに転換したい。**

**東京はよみがえった、東京にいてよかった、と思えるように。**

**そのための行動にたちあがろう。**

■私たちのよびかけに、あなたが「そうだな」と思われる部分があったら、あなたの地域、仕事場、学園などどこででも、あなた自身がまず「○○勝手連」１号になり、あるいはつながり仲間と一緒に「○○勝手連」をつくり、「宇都宮さんと都政を□□に変えよう」とか「宇都宮さんと□□な都政にしよう」とかご自身（たち）のよびかけを発信して、仲間を広げてください。その仲間が、さらに仲間を広げていくように、よびかけて下さい。

■連絡をとりあいながら（連絡網、メーリング・リストをつくりながら）、一挙にこの活動を広げたいと思います。

■１１月２８日までと、２９日（都知事選告示日）からでは、活動の仕方を変える必要があります。添付４枚のうち、「宇都宮けんじさんを応援したい！」を見ると「勝手連で何ができるの？」がわかります。できることを確認し、のびのびと活動を広げていきましょう。

2012年11月18日

よびかけ人（ｱｲｳｴｵ順）

新井英明（二子玉川再開発）、金子秀人（外環道）、橋本良仁（高尾の自然を守る市民の会）、長谷川茂雄（都市計画道路連絡会）、林田力（『東急不動産だまし売り裁判』著者）、深澤洋子（八ッ場ダム）、堀達雄（スーパー堤防）

「人にやさしい街づくりをめざし宇都宮さんを応援する会」略称：「ひとまち勝手連」

連絡先／長谷川茂雄　℡080-5672-3991　ﾒｰﾙ／t\_road2012@yahoo.co.jp